

Staff Blog



スタッフブログ

（スタッフブログ）

ヤクシカトレーニングははじめました

皆さん、こんにちは！

日に日に、気温も下がり秋めいてきましたね。

急な気温の変化で、体調など崩していませんか？

獣医のカワセです。ヤクシカのトレーニング始めました。

と言っても、他の動物たちで取り入れているような採血トレーニングや体重測定のトレーニングではなく

担当以外の人に慣れてもらうところから始めています。

なぜ、そもそもこのことが必要であったかという、この秋口からヤクシカやニホンジカは恋の季節になり、オスには立派な角が完成します（角は春先に落ちて、そこから秋にかけて成長します。）

そのため、この時期にシカたちと人の安全のために毎年、かみね動物園では角を切ることをしています。（完成された角を切っても出血もありません）

角を切るためには、動物たちを保定（動物に処置がで切る状態にすること）しなくてはなりません。

しかし、角を持つ彼らに近づくのは容易ではなく、また、角を切るときは人数も必要のため、いつもの状態ではなく、少なからず彼らにも緊張が走ります。

そのため、少しでもその状況になっても、彼らがパニックにもならず、安全に保定できるようにできないかなと思い今回のトレーニングを開始致しました。

初めに、担当者ではない僕が入っても慣れてもらうことから始めました。初めは、普段はあまり見かけない僕を見ると、なんだなんだ、と奥の方に行ってしまう、全然近くに寄ってきてはくれませんでした。

しかし、根気よく続けることで、現在では3頭ともに近寄って手からご褒美のニンジンを食べてくれるようになりました。

そして現在では僕だけでなく、僕を含めて3人で入っても、難なく3頭とも寄ってきってくれるようになりました。



〈今回トレーニングを始めた3頭のヤクシカ達〉



〈各個体、飼育員さんから直接おやつを食べられるようになりました〉



〈近くによっても離れにくくなりました〉

今後はさらに人数を増やしてもびっくりしないように続けていき、さらには体を触ってもびっくりしないように続けていけたらと思います。根気よく続けていこうと思います。
また、進展がありましたらブログ等で報告します。

獣医師 かわせ

2021年10月31日

アライグマのフードボウルのその後

フードボウルを設置しました！

以前にほしいもののリストで募集したフードボウルでしたが、みなさん覚えてますか？

覚えてない！そもそも知らない！という方はこちらをご覧ください。[2021年5月 ほしいもののリスト 使用報告と御礼](#)

さて、動物にとってエサを食べる時はとても楽しい時間です。そのエサを探している時間も含め、長くすることで楽しい時間を増やし、単調になりがちな生活に刺激を与えることができます。そこで、動物園ではエサを隠したり、あえて取りづらくしたりする工夫をしています。

ほしいもののリストでいただいた際に、アライグマでもこのフードボウルを高い所に設置したり、取りづらい工夫をしていきたいと言ってからだいぶ経ってしまいましたが、やっと設置できたのでご紹介したいと思います。

まずは登って取りづらい柱作戦



アライグマの展示場左側にこのように高さを出して設置しました。アライグマは木登りが得意！スルスルと登って木のみや果実、小さな動物などを捕まえて食べています。そんな姿をみなさんに見てもらいつつ、アライグマたちには楽しんでもらいたいという思惑です。そんな事を思って設置してみましたが、なんだか小鳥用のエサ場みたいな見た目になってしまいました。

柱一本だけだと倒れそうなので少し補強しました。



エサを入れるとさっそく興味を持ってきて近寄ってきてくれました！横棒に器用に登り、台に前肢をかけて食べています。



正面から見ると、こんな感じ！

かなり必死に取っていますね。これは簡単に取れてしまったら意味が無いので、大成功です！！

次は邪魔して取りづらいあみあみ作戦



お次は展示場右側の台の上に設置しました。アライグマは手先も器用！地面に設置しただけだと、フードボウルの溝に入ったエサも簡単に取れてしまいます。そこで網をかぶせて少し取りづらくしてみました。



こちらは思ったよりも簡単に取りられてしまいました。5cm角の網では全然邪魔ではなかったようです。。。ただ、少しエサが残っていたり、時間も多少伸びたのでまあ合格点ですかね。



その他にも左下にガラポンをつけたり、タイヤを増やしたりと、少し展示場が賑やかになったかな？

14時からのもぐもぐタイムの時に使っている姿が見られると思います。使っていくうちにどんどん上手な使い方がわかってきてその変化も見っていておもしろいです。ぜひ足を運んでみてください。

そして、ほしいもののリストにご参加くださったみなさん。ありがとうございました！！

久々の工作作業はやっぱり楽しい 飼育員 にしの

イチゴちゃんがお母さんになりました！その2

大変お待たせ致しました！チンパンジーのイチゴちゃんの出産についての続きです。

その1はこちらから↓

<https://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/staff/ooguri/p097838.html>



イチゴちゃん

お腹が大きくなるにつれ、いつも以上に水を飲んだり、あまり食べなかった枝葉や草類を食べるようになったり、逆に今まで食べていた野菜類を食べなくなったり、食べるものに変化がみられるようになりました。



珍しく野草を食べるイチゴちゃん

さらに、イライラしている日、いつも以上に遊んでほしいような日、群れの中で急に騒ぎ出す日などといった行動の変化もみられるようになりました。

体調や精神面を出来る限りフォローしていくと共に、無事に出産が出来るのか、そして育児をすることができるのか、という大きな心配がありました。

イチゴちゃん自身が人工保育だったことや、群れの中で他のチンパンジーたちが子育てをしている光景を見たことがない中でしっかり子育てをするのはかなり厳しいだろうという風に考えていました。

「育児って本能で出来ないのですか？」、と聞かれることがありますが、「どうにかしなくちゃ」という気持ちは芽生えるかもしれませんが、全く経験のない事を行うのはとても難しいのではないかと思います。特にチンパンジーは妹や弟の面倒を見て子育てを学んでいくため余計に難しいと言われていました。

今までの例から子育ての映像を見せたり、ぬいぐるみを抱いているの見せたりといった育児練習を行いました。しかしイチゴちゃんはどちらにもあまり興味を示さず、どれだけの効果があるのかは何とも言えない状況でした。

さらにもう一つ心配だったのは初めて見る赤ちゃんにパニックを起こしてしまわないか、パニックになって誤って赤ちゃんを傷つけてしまわないかという事でした。

色々な事を想定し、落ち着きがあり、何かあった時に助けてくれる存在としてリョウマ君のお母さんであるマツコちゃんと夜間も同居するようにしました。



白羽の矢が立ったマツコ（右）と息子のリョウマ（左）

チンパンジーの妊娠期間は平均で230日前後であることから出産は8月中旬から下旬と考え、その前に暗視カメラを取り付けたり（一度マツコに破壊されてしまいました…）、藁を大量に敷いたりと出産に備えました。

そしてついに！予想していたよりも早い8月9日の朝赤ちゃんが生まれているのを確認しました！！

ただ残念ながら予想していた通りイチゴちゃんは赤ちゃんを抱いていませんでした。それでももう一つの心配だったパニックになってしまった様子はなく、赤ちゃんは元気に藁の上で動いていました。まずは母子ともに無事であることが何よりでした。



無事に出産は出来たがどうしたら良いのか分からない様子

後から録画したものを確認してみると8月8日の夜10時38分に出産した様子が残されていました。赤ちゃんが出てきたところをしっかりと受け止めており素晴らしい行動でした。

またイチゴちゃんは赤ちゃんを抱いてはいませんが、「大切にしくちゃ、何とかしないと」という気持ちがあるようで移動する時にその場に置いていく事はせず抱えてくれました。なんとか上手くそのまま胸に持っていき授乳してくれないか、と見ていましたが赤ちゃんの手や足をもってしまい、休んでいる時は近くに置いておくといった様子でした。

またマツコちゃんもかなり気にしてはいましたがイチゴちゃんに気をつかっており赤ちゃんに近づく様子はありませんでした。

チンパンジーの赤ちゃんは適正な体重で生まれ、温度が保たれていれば数日間は授乳がなくても大丈夫だと言われていたため、攻撃する様子もなかった事からしばらくは様子を見ることにしました。

しかし時間が経つにつれイチゴちゃんが赤ちゃんを置いたままにしておく様子が見られるようになり、また赤ちゃんの元気がなくなっていく様子も見られたため、一度状態を確認してみることとしました。

さて、その2はこここまでです。写真があまりなく文章ばかりですがここまで読んで頂きありがとうございます。次は出来る限り早くその3を書きたいと思いますので少しの間お待ち下さい。

(チンパンジー担当 おおぐり)

2021年10月6日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

令和3年

[令和3年12月](#)

[令和3年11月](#)

[令和3年10月](#)

[令和3年9月](#)

[令和3年8月](#)

[令和3年7月](#)

[令和3年6月](#)

[令和3年5月](#)

[令和3年4月](#)